



新党日本
田中 康夫代表

○日本「改国」宣言

満を持して「日本『改国』宣言」を発表しました。「発想を変え、仕組みを変えよう。」と副題を冠した「新党日本マニフェスト2009」重点施策の1番目には「既得権益に群がる政治家・官僚・業界・団体（政官業団）の『前例踏襲主義』を溶かし、『しがらみの大掃除』を断行します。」と明記しています。

複数の報道機関が報じる直近の世論調査では、3割を超える有権者が「特定の支持政党なし」

と回答。信じられない日本の政治に愛想を尽かし、政権交代に期待する一方で、再構築すべき社会のありさまに強い関心を抱けばこそ、多くの人は既存政党に飽き足らないのです。

大層な総論を掲げながらも具体的な各論に至ると、なし崩し的に既成事実を追認してしまう「しがらみ・なれあい」の旧来型政治にへきえきし、的確な認識・迅速な決断と行動・明確な責任を期待し得る政治の指導者は一体日本のいずこにいるのだ、と慨嘆しているのです。

先の参院選における比例代表で、国民新党より全国で50万票余りも多く、また東京都のみならず、名古屋、大阪、神戸、京都をはじめとする複数の政令指定都市で、社会民主党よりも多くの得票を、新党日本はちょうどいしました。

「ウルトラ無党派」と私が規定する方々は、城山三郎さんが晩年に好んで用いられた「無所属の時間」、すなわち、帰属し

ている職場における肩書や評価を超えて、一人の人間として家族や地域を愛して過ごす自分を大切にしている方々なのです。

背後に控える大組織の都合で動く政治から、小さくとも確かな個人や地域の願いを実現する政治へと転換する。「社会的公正」と「経済的自由」を同時に達成し、混迷する日本にダイナミズム（躍動感）を取り戻すためにも、既得権益でがんじがらめになった日本の大掃除を敢行し「フェア・オープン・シンプル（公正・透明・簡素）」な仕組みを再構築する「改国」を。

その実現に向け、官僚任せだった予算の積み上げ書をゼロベースで精査し、前例踏襲的な事業を徹底排除します。それは6年間の知事在任中に全国で唯一、連続で借金を減少させ、基礎的財政収支を7年度連続で黒字化すると同時に、小学校30人学級を全国最初に全学年で導入する「財源」を生み出した、政治と行政に王道なしの「まっと

うな手法」です。さらに会計検査院の上部組織として、国民から選ばれた検察審査会的な委員会を各分野に設置。中央VS地方の二項対立を解消すべく、参院の構成を全国比例区選出議員と47都道府県知事に変更します。

公正の観点から、消費税にインボイス方式を導入し、社会保障分野を再構築すべく、乳幼児から高齢者に至るすべての国民に無条件で毎月一定額を一律に保証する「最低生活保障Ⅱベリック・インカム」を導入します。デンマークなどの北欧諸国が取り組むこの制度こそは、議員の口利きに象徴される裁量行政が幅を利かす社会保険庁や自治体の福祉事務所の役割を終焉させ、効率的な福祉国家を実現させる触媒機能なのです。

坂本竜馬もチェ・ゲバラも、か弱き人、愛する人のために守り旧派抵抗勢力と闘い続けました。「平成の改国」を断行すべく、脱しがらみ・脱なれあいの新党日本は踏ん張ります。